

施設基準に係る院内掲示

令和6年10月1日

1 施設基準の届出状況について

当院では、下記の施設基準について要件を満たし、東北厚生局に届出をしています。

(1) 基本診療料

	届出名称		届出名称		届出名称
1	医療DX推進体制整備加算	13	栄養サポートチーム加算	17	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
2	初診料（歯科）の注1に掲げる基準	14	医療安全対策加算1（医療安全対策地域連携加算1）	18	ハイリスク妊娠管理加算
3	歯科外来診療医療安全対策加算1		医療安全対策に係る研修を受けた医療安全管理者を配置しています。	19	後発医薬品使用体制加算1
4	歯科外来診療感染対策加算2	8	医師事務作業補助体制加算1（20対1）	20	データ提出加算2、4
5	急性期一般入院料2	9	急性期看護補助体制加算（25対1（看護補助者5割未満））（看護補助体制充実加算）	21	入退院支援加算1（入院時支援加算）
6	救急医療管理加算	10	看護職員夜間配置加算（16対1配置加算2）		入退院支援及び地域連携業務に関する部門を設置し、各病棟に専任の看護師又は社会福祉士を配置しています。
7	診療録管理体制加算3	11	療養環境加算	22	認知症ケア加算3
	診療記録等が適切に保管・管理されています。	12	重症者等療養環境特別加算	23	せん妄ハイリスク患者ケア加算
8	医師事務作業補助体制加算1（20対1）		個室13室にて算定しています。	24	地域医療体制確保加算
9	急性期看護補助体制加算（25対1（看護補助者5割未満））（看護補助体制充実加算）	13	栄養サポートチーム加算	25	回復期リハビリテーション病棟入院料1
10	看護職員夜間配置加算（16対1配置加算2）	14	医療安全対策加算1（医療安全対策地域連携加算1）	26	地域包括ケア病棟入院料2
11	療養環境加算		医療安全対策に係る研修を受けた医療安全管理者を配置しています。		
12	重症者等療養環境特別加算	15	感染対策向上加算1（指導強化加算、抗菌薬適正使用加算）		
	個室13室にて算定しています。	16	患者サポート体制充実加算		

(2) 特掲診療料

	届出名称		届出名称		届出名称
1	外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	27	抗悪性腫瘍剤処方管理加算	47	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
2	糖尿病合併症管理料	28	外来化学療法加算1	48	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎（尿管）悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
3	がん性疼痛緩和指導管理料	29	無菌製剤処理料		
4	がん患者指導管理料イ、ロ、ニ	30	心大血管疾患リハビリテーション料（I）		
5	婦人科特定疾患治療管理料	31	脳血管疾患等リハビリテーション料（I）		
6	二次性骨折予防継続管理料1、3	32	運動器リハビリテーション料（I）		
7	院内トリアージ実施料	33	呼吸器リハビリテーション料（I）		
8	夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	34	がん患者リハビリテーション料	49	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
9	外来腫瘍化学療法診療料1	35	歯科口腔リハビリテーション2	50	膀胱水圧拡張術
10	連携充実加算	36	人工腎臓（慢性維持透析1）	5	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
11	ニコチン依存症管理料	37	導入期加算1	52	輸血管理料II

12	ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）	38	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	53	輸血適正使用加算
13	がん治療連携指導料	39	下肢末梢動脈疾患指導管理加算	54	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
14	薬剤管理指導料		下肢末梢動脈疾患の重症化を予防し、専門科と連携して治療を行います。	55	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
15	医療機器安全管理料1	40	ストーマ合併症加算	56	麻酔管理料（Ⅰ）
16	歯科治療時医療管理料	41	CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	57	高エネルギー放射線治療
17	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	42	皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	58	保険医療機関間の連携による病理診断
18	在宅療養後方支援病院	43	緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	59	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
19	BRCA1/2 遺伝子検査	44	乳がんセンチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）	60	病理診断管理加算1
20	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ検出）	45	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿	61	悪性腫瘍病理組織標本加算
21	検体検査管理加算（Ⅱ）		孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡に	62	口腔病理診断管理加算1
22	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト		よるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻孔閉鎖術	63	クラウン・ブリッジ維持管理料
23	補聴器適合検査		内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖	64	看護職員処遇改善評価料
24	コンタクトレンズ検査料1		術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）	65	外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）、歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
25	内服・点滴誘発試験	46	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	66	入院ベースアップ評価料
26	CT撮影及びMRI撮影				

※ 当院では各リハビリテーションに関し、医師、理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士等が適切に配置されており、十分な専用施設及び器械・器具類を有しています。

（3）その他

	届出名称		届出名称
1	入院時食事療養（Ⅰ） 管理栄養士により管理された食事を適時適温で提供しています。	2	酸素の購入単価

2 病棟における看護職員の配置について

病棟名	1日あたりの 看護職員配置数	看護職員1人あたりの受け持ち患者数		
		午前8時30分～午後4時30分	午後4時30分～午前0時15分	午前0時15分～午前8時30分
3階西病棟（急性期一般病棟入院料2）	13人以上	6人以内	14人以内	14人以内
4階東病棟（急性期一般病棟入院料2）	15人以上	6人以内	16人以内	16人以内
4階西病棟（急性期一般病棟入院料2）	15人以上	6人以内	17人以内	17人以内
5階東病棟（急性期一般病棟入院料2）	15人以上	6人以内	17人以内	17人以内
5階西病棟（地域包括ケア病棟入院料2）	12人以上	9人以内	18人以内	18人以内
6階東病棟（急性期一般病棟入院料2）	15人以上	6人以内	17人以内	17人以内
6階西病棟（回復期リハビリテーション病棟入院料1）	12人以上	8人以内	16人以内	16人以内

3 DPC 対象病院について

当院は、疾患を診療行為に応じて分類し、各分類で厚生労働省が定めた定額点数で入院医療費の一部を計算する「DPC 対象病院」となっています。

4 マイナ保険証を活用した診療の推進について

当院ではマイナ保険証によるオンライン資格確認を行っています。患者様の受診歴、薬剤情報及び特定健診情報等の必要な診療情報を取得・活用することで、質の高い医療の提供に取り組んでいます。また、電子処方箋の発行にも対応しています。

5 後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進並びに一般名処方について

当院では、後発医薬品の使用に積極的に取り組んでいます。また、医薬品の供給が不足した場合には、患者様へ適切に医薬品を提供する観点から、以下の対応を行っています。

- (1) 治療計画の見直しを行う等、適切に対応します。
- (2) 投与する医薬品を変更する可能性がある場合や変更する場合には、患者様にご説明します。
- (3) 外来において、後発医薬品（ジェネリック医薬品）のある医薬品を処方する場合は、患者様にご説明の上、銘柄名ではなく一般名（成分名）で処方する場合があります。

6 院内トリアージの実施について

当院では、救急受診をされた患者様を対象に、緊急度・重症度により緊急性が高いと判断された方を優先して診察する「院内トリアージ」を実施しています。トリアージは、訓練を受けた看護師が症状等を確認し対応します。診察の順番が前後する場合や待ち時間が長くなることがありますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7 ハイリスク妊産婦の共同管理について

当院では、以下の医療機関と連携し診療を行っています。

- (1) 石巻赤十字病院（石巻市蛇田字西道下 71 番地 0225 - 21 - 7220）
- (2) 東北大学病院（仙台市青葉区星陵町 1 - 1 022 - 717 - 7000）

8 外来化学療法の体制について

当院では、患者様が安心して化学療法を受けられるよう、以下の対応を行っています。

- (1) 専任の医師、看護師または薬剤師を院内に常時 1 人以上配置し、患者様から電話等による緊急の相談に 24 時間対応できる体制を整備しています。

(2) 副作用による急変等の緊急時に、速やかに入院して治療できる体制を確保しています。

(3) 実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する委員会を定期的を開催しています。

9 コンタクトレンズ検査料を含む診療に係る費用について

(1) 初診料及び外来診療料（再診料）の点数

初診料 291 点、外来診療料 76 点

※当院において過去にコンタクトレンズ検査料が算定されている場合には、初診料ではなく外来診療料を算定します。

(2) 当院で算定するコンタクトレンズ検査料

コンタクトレンズ検査料1 200 点

※お薬や処置、手術等の費用は含まれません。

(3) コンタクトレンズ診療担当医師

一迫 弘平 眼科診療経験 10 年、村上 真之 眼科診療経験 4 年

10 歯科口腔外科外来における院内感染防止対策・医療安全対策について

当科では、患者様に安心して治療を受けていただくために、歯科外来診療の院内感染防止対策に関する研修、並びに医療事故対策等の医療安全対策に関する研修を修了した歯科医師を配置しています。

(1) 院内感染防止対策

口腔内で使用する医療機器等は、適時適切に交換や洗浄・滅菌処理を行っています。また、標準予防策及び新興感染症に対する対策等の院内研修を実施し、感染症患者に対する診療に対応しています。

(2) 医療安全対策

自動体外式除細動器（AED）等を設置し、偶発症に対する緊急時の対応が可能なほか、必要に応じて当院の医科診療科と連携し、緊急時の対応を速やかに行います。万が一医療事故が発生した場合には、報告・分析を行いその改善を実施する体制を整備しています。

11 医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 5 及び 6（歯科点数表第 2 章第 9 部手術の通則 4 を含む）に掲げる手術（令和 5 年 1 月から 12 月における手術件数）

区分	手術名	件数	区分	手術名	件数	区分	手術名	件数
1	ア、頭蓋内腫瘍摘出手術等	6	3	ア、上顎骨形成術等	4	その他	エ、冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む）及び体外循環を要する手術	0
	イ、黄斑下手術等	149		イ、上顎骨悪性腫瘍手術等	0		オ、経皮的冠動脈形成術	30
	ウ、鼓室形成手術等	6		ウ、バセドウ甲状腺全摘出（亜全摘）術（両葉）	0		(1) 急性心筋梗塞に対するもの	20
	エ、肺悪性腫瘍手術等	1		エ、母指化手術等	0		(2) 不安定狭心症に対するもの	1
	オ、経皮的カテーテル心筋焼灼術	0		オ、内反足手術等	0		(3) その他のもの	9
2	ア、靭帯断裂形成手術等	5	4	カ、食道切除再建術等	1		オ、経皮的冠動脈粥腫切除術	0
	イ、水頭症手術等	7		キ、同種死体腎移植術等	0		オ、経皮的冠動脈ステント留置術	83
	ウ、鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等	0	その他	胸腔鏡又は腹腔鏡を用いる手術	197		(1) 急性心筋梗塞に対するもの	0
	エ、尿道形成手術等	0		ア、人工関節置換術	20		(2) 不安定狭心症に対するもの	69
	オ、角膜移植術	0		イ、乳児外科施設基準対象手術	0		(3) その他のもの	14
	カ、肝切除術等	3		ウ、ペースメーカー移植術及びペースメーカー交	43			
	キ、子宮付属器悪性腫瘍手術等	0						

※心臓血管外科を標榜している他の保険医療機関と綿密な連絡体制をとっており緊急時の対応が可能です。

12 保険外負担に関する事項

(1) 文書料等について

1 通あたりの主な文書料（税込）は、以下のとおりです。記載のない文書が必要な場合は、診断書受付窓口にお問い合わせください。

文書名	料 金	文書名	料 金	文書名	料 金
普通診断書	2,200円	生命保険診断書	7,700円	出生証明書	2,200円
普通診断書（症状記載のあるもの）	3,300円	後遺障害診断書	5,500円	医療費受領証明書	550円
死亡診断書	3,300円	身体障害診断書	5,500円	老人施設診断書	3,300円

※診察券の紛失等による再発行料は、200 円（税込）です。なお、衛生材料等の治療行為及びそれに密接に関連した「サービス」や「物」についての料金の徴収や、「施設管理費」等のあいまいな名目での費用の徴収は、一切認められていません。

13 選定療養費（保険外併用療養費）に関する事項

(1) 初診及び再診に係る選定療養費について

他の医療機関等からの紹介によらず、当院を直接受診した場合は、初診及び再診に係る費用として、下記の金額をお支払いいただきます。ただし、当院を直接受診する必要性を特に認めた場合は、この限りではありません。

区分	初診時（税込）	再診時（税込）
医科（歯科を除く診療科）	3,300円	1,650円
歯科	1,650円	825円

(2) 室料差額について

個室（1人室）の差額室料は、以下のとおりです。妊娠中及び出産後の入院の場合は非課税となり、（ ）内の料金となります。

区分	料金（1日につき）	病室番号
個室A	6,050円（5,500円）	318・320・321・421・422・431・432・433・517・618・631・632・633
個室B	4,950円（4,500円）	308・312・406・410・438・452・506・510・606・610・638・652
個室C	4,400円（4,000円）	316・413・435・513・613・635

(3) 入院期間が180日を超える入院について

180日を超える入院については、税込金額1日2,712円（課税対象額1日2,466円）をお支払いいただきます。

(4) 後発医薬品（ジェネリック医薬品）のある特定の先発医薬品の処方を希望された場合について

入院中の患者を除き、後発医薬品と先発医薬品の価格差の4分の1相当の金額をお支払いいただきます。院外処方の場合は、調剤薬局でのお支払いとなります。ただし、医師が必要と認めた場合等は、この限りではありません。

14 「個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書」の発行について

当院では、医療の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行に際し、個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しています。また、公費負担医療の受給者で医療費負担のない方についても、明細書を無料で発行しています。なお、明細書には使用した薬剤の名称や実施された検査の名称が記載されるものですので、その点をご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合、その代理の方への発行も含めて、明細書の発行を希望されない方は、計算窓口でその旨お申し付けください。